

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 17 日現在

機関番号：16101

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2013～2015

課題番号：25590114

研究課題名(和文) Facebookによる外国人底辺労働者の組織化

研究課題名(英文) Facebook Activism among Marginalized Foreign Workers

研究代表者

上野 加代子 (Ueno, Kayoko)

徳島大学・大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部・教授

研究者番号：50213377

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,500,000円

研究成果の概要(和文)：デジタルなソーシャルネットワーク媒体であるFacebookが、その手軽さと楽しさゆえに、社会運動参加のコストを下げるかたちで、就労地で周辺化されている外国人労働者のサイバーアクティビズムにつながることを明らかにした。さらに、外国人による住み込み家事労働者の問題点としてこれまで指摘されてきた密室の労働場所や労働実態の見えにくさといった特徴が、Facebookの労働運動においては利点となりうることを明らかにした。

研究成果の概要(英文)：This study examines the use of social media for online activism among live-in foreign domestic workers constrained to the private sphere of their employers. The specific research target is Filipina domestic workers in Singapore who use a Facebook group designed by an NGO to facilitate a social movement for freedom, equality and justice. Data analyzed include follow-up of 126,216 Facebook posts over three years, face-to-face interviews with members of the Facebook group and participant observation of various offline group activities. Evidence suggests that low visibility domestic work actually increases opportunities for domestic workers to connect with fellow workers and the NGO on line and, by so doing, improve labour conditions. Two examples of changes due to domestic workers' use of Facebook for social activism are also noted.

研究分野：社会学

キーワード：Facebook シンガポール サイバーアクティビズム 外国人家事労働者 労働運動 NGO

1. 研究開始当初の背景

住み込みの外国人家事労働者は、家庭内での労働の内容の見えにくさと長時間労働ゆえに「現代の奴隷制」といわれてきた。しかし、ICTの発展のために彼女たちの生活環境は変わってきたが、その変化が十全に把握されていなかった。

2. 研究の目的

本研究は、外出機会が制限され、構造的にもっとも孤立しやすくとされる住み込み外国人家事労働者が、シンガポールという政治的な自由が制約されている就労国で、Facebook を利用して自分たちを組織化し、親密圏を構築し、労働運動を展開して成功を押し込めている事例を、Facebook の書き込みをデータ化し分析することで検討することが目的である。

3. 研究の方法

シンガポールにある外国人労働者支援 NGO である HOME の創設者が外国人家事労働者たちと共に創設した Facebook グループである GABRIELA と KARTINI を研究対象にした。前者はシンガポールで働くフィリピン家事労働者、後者はインドネシア家事労働者を念頭においたものである。これらの Facebook グループが、会員数をのぼしていき(2014年9月末時点で GABRIELA が約 1 万 7,000 人、KARTINI は約 3,000 人)、彼女たちの親密圏の構築の一助となるだけでなく、会員が書き込みを行うことを通じて、労働者運動にも発展している。本研究では GABRIELA のポスト 126,216 件を分析し、そして両グループの会員である 100 人の家事労働者にパソコンや iPad、携帯電話の使用方法和これらの Facebook グループの利用についてインタビュー調査を行った。さらに、この運動と連携しているフィリピンのマニラの NGO(SOHO)においてもインタビュー調査を実施した。

4. 研究成果

これまでのサイバー・アクティビズムについての研究は、安い費用(Oiarzabal 2012)、規制されにくさ(Kissau 2012: 1382)、相互作用の遍在性と即時性(Nedelcu 2012: 1346; Oiarzabal 2012: 1475)、そして運動の大規模化(Earl and Kimport 2011)といった点が強調されてきたが、インターネットというツールに固有のプライベート性やレジャー性やマルチタスク性への着目は弱かった。本研究では、主に Rainie and Wellman (2012)の networked individualism の 4 つの特徴(personal user aspect, multiple user aspect, multi-threaded aspect, multi-tasking aspect)に依拠し、家事労働者の Facebook 運動は、デジタルなソーシャル・ネットワークである Facebook が、これらのインターネットの特徴ゆえに、彼女たちの運動参加のコストを下げ、その結果、就労

地で周辺化されている女性たちのサイバー・アクティビズムにつながったことを明らかにした。

Facebook グループは、これまで二つの功績をなしとげた。ひとつは、高層住宅の「窓の掃除の規制」である。家事労働者が高層の窓から転落し死亡するという悲惨な事件が続く新聞で報道されるなか、高層の窓の外側の掃除と竹の洗濯竿を直角にして外側に干すことを法で禁止する嘆願書を千人以上の外国人家事労働者から集め、人材省に送った。これは、2012年6月、シンガポール人材省が「家事労働者による窓の外側の掃除の禁止」(制限つき)を制定し、全雇用者に通達することを後押しした。

もうひとつは、フィリピン側の斡旋業者に払った料金の返還である。フィリピンから海外に家事労働者として働く場合、フィリピン労働雇用省海外雇用庁(POEA)を通して出国することになっており、POEA は斡旋業者が労働者から料金を徴収することを禁じている。そして、シンガポール側の斡旋業者は、法律によって給与の2ヶ月分までしか労働者に請求できないことになっている。したがって、5~8ヶ月の間、斡旋業者への料金返済のために給与が支払われないといった市場の慣行は、法律違反なのである。HOME がバックアップし、家事労働者が POEA に訴えた。そのトピックについての白熱した議論と HOME のサポートで返還された料金の具体的な総額が Facebook グループ上でアップされ続けた。それ以降、シンガポールで就労するフィリピン女性が負担する斡旋業者の料金は2ヶ月分に短縮したのである。

自分の置かれている構造的に脆弱な立場に対して、外国人家事労働者の誰しもが高い問題意識をもっているわけでないだろう。NGO の社会運動のビジョンと本人たちの運動への意識には、通常、大きな温度差がある。その点、基本的に Facebook は、彼女たちにとって、まず友達や家族とつながるツールであり、その次に娯楽や趣味活動という性格づけである。社会運動のために Facebook で自分のプロフィールを作成するひとなどないからである。

通常、多くの会員にとっては、「受け入れてくれて、ありがとう」という気軽な投稿から参加がはじまる。そして特定のメンバーに、故郷に近い、同じスキルアップクラスに通っている、などの理由で個人的に「友達友人リクエスト」を送る。彼女たちは、仕事の合間に、ボーイフレンドや友人や故郷の家族とチャットしながら、テレビニュースやドラマをみる感覚で Facebook グループの興味深い実況中継やポストに見入っている。そしてそのついでに、NGO が作った嘆願書のテンプレートなどを友達にメールで転送するのである。デジタルなソーシャル・ネットワークである Facebook が、その手軽さと楽しさとレジャー性ゆえに、家事労働者たちの心理的・物理

的・経済的な面で社会運動参加のコストを下げ、就労地で周辺化されている女性たちのサイバー・アクティビズムにつながったことがわかる。

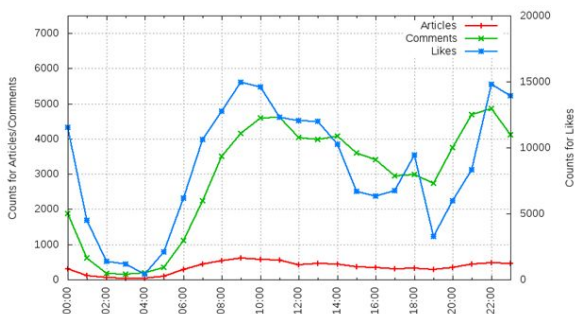


Figure1. The Number of Postings(articles, comments, likes) in Filipino FB group(ANGELICA)

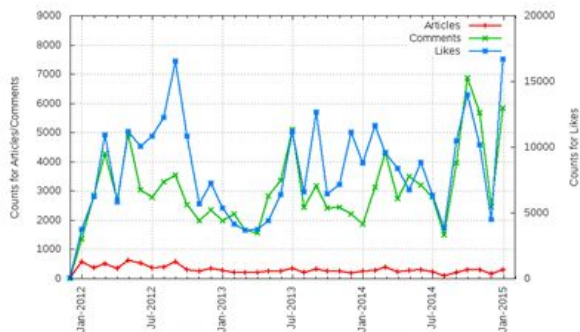


Figure2. The Number of Postings(articles, comments, likes) in Filipino FB group(ANGELICA)

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計5件)

上野加代子、シンガポールの家事労働者、『家族とリプロダクションのオルタナティブデザイン』松岡悦子編、勉強出版、2016 査読無、印刷中

Ueno, Kayoko, Love Gain: Transformation of Intimacy among Foreign Domestic Workers in Singapore, Intimate Work and International Migration, (Asato, Wako ed.), Brill、2016. 査読無、印刷中

上野加代子、ラブゲイン - 外国人家事労働者にみる親密性の変容、親密性の労働と国際移動(安里和晃編)、2016、京都大学出版会、査読有、印刷中

上野加代子、斡旋業者をめぐるフィリピン人家事労働者とシンガポールNGOの闘い - 払いすぎた斡旋料の変換運動、M ネット Migrants Network、186 巻、2016、28 - 29、査読無

⑤上野加代子、NGO のサイバー・アクティビズム、M-ネット Migrants Network、160 巻、2013、16-17. 査読無

〔学会発表〕(計4件)

Ueno, Kayoko, Thoughts on implementing a program for employing foreign household workers in Japan, Integration of Migrants and Social Policy Issues Reflections from Japan, " Korea and Thailand towards Creation of Inclusive Society, Kobe Center for Oversea Migration and Cultural Interaction (兵庫県神戸市), 2016.01.24.

Ueno, Kayoko, Facebook Activism and Networking among Foreign Domestic Workers in Singapore, Migrant Technologies: (re)producing (un)freedoms, United Nations University, Macau, 2015.05.20.

Ueno, Kayoko, From a Closet in the Employer's House: Facebook Activism among Foreign Domestic Workers, International Workshop on " Intimate Lives of Labores ", Graduate School of Asia-Pacific Studies, Waseda University (東京都新宿区), 2015.03.01.

Ueno, Kayoko, Facebook Activism by Foreign Domestic Workers in Singapore, XVIII ISA World Congress of Sociology, Yokohama, パシフィコ横浜(神奈川県横浜市), Japan, 2014.07.15.

〔図書〕(計0件)

〔産業財産権〕
出願状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6．研究組織

(1)研究代表者

上野 加代子 (Ueno, Kayoko)
徳島大学・大学院ソシオ・アーツ・アンド・
サイエンス研究部・教授
研究者番号：50213377